

国鉄改革完遂！
当たり前の労働運動
を前進させよう！

J R
東海労

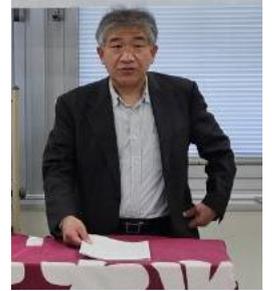
静岡

J R東海労働組合静岡地方本部
静岡市葵区黒金町 68
NTT 054-284-3608
FAX 054-283-6365
発行責任者 半場 弘恭
2026年1月7日 No. 14

当たり前の労働運動を静岡地本らしく取り組む

<半場委員長新年のあいさつ>

東海労働組合静岡地



新年明けましておめでとうございます。昨一年間の JR 東海労静岡地本の取り組みに対する組合員およびOBの大先輩、多方面からの激励や支援に対し、あらためて感謝し御礼を申し上げます。昨年は、平和・人権・民主主義を守る闘いと、リニア建設反対の闘いを軸に、職場の諸問題の解決に向けて取り組んできました。また、OBの3名が組合員として加わりパワーアップしました。8月には、地本主催のキャンプを開催し、ペルーの労働者と子供たちを招待して交流をしました。日本で働くペルーの労働環境を取り巻く現実を共有することができました。また、本部と他地本からも広く参加していただき、JR東海労組織の展望を切り拓く一端を担いました。



リニア中央新幹線建設工事は、各地で地盤沈下や隆起、水枯れ、事故により工事が遅れ、建設費が11兆円と莫大な金額に膨れ上がりました。静岡県ではトンネル工事による大井川の減水が予想され、静岡県リニア工事差止訴訟が起こされ20回の口頭弁論が終わりました。原告証人は「南アルプスのトンネル工事は、青函トンネル以上の今までに経験しえない水圧と土圧下のトンネル工事となる。山体内の水が抜けるため20年間にわたって山岳での地表の湧水が減少し続ける」

と供述しました。自然が破壊されることとなり、流域の市町の大井川の減水の不安は残されたままとなっています。JR東海の静岡県への説明は、南アルプスのトンネル工事の説明が十分なされておらず、「静岡県リニア問題連絡会」は、知事に要請をすることとしています。



JR東海内ではリニア建設の借金のつけを社員に押し付け、人事・賃金制度の変更をしてきました。もっと働け、もっと努力しろと言わんばかりの社員管理をしてきています。また、業務改革によるICT化、東海道本線へのワンマン運転の拡大が予定されています。運転士の労働強化と旅客サービスの低下や災害時の避難誘導等を含めた安全問題が危惧されます。職場環境改善と労働条件の改善、鉄道業務の最大の使命である安全を確保するための労働組合の存在が求められています。また、高



市政権による軍事費拡大と排外主義により戦争への準備が進められています。地本は、あらゆる戦争政策に反対して、平和な社会を目指します。今年も引き続きこの間の闘いを継続し、天竜林業高校事件の支援行動、リニア建設の闘いにおいては、建設に反対する市民団体との連帯をさらに強化していきます。JR東海労として当たり前の労働運動を静岡地本らしく取り組んでいきます。

他労組のみなさん！JR東海労に結集して真の労働運動を共に進めていきましょう！